

# 宮城県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

宮城県は東北地方の東南部に位置し、奥羽山脈（西部）、北上高地（北部）、阿武隈（あぶくま）高地（南部）から流れ出る河川によってつくられた肥沃な仙台平野は、東北一の広がりを持つ豊かな穀倉地帯となっている。宮城県の森林は約42万haで県土の57%を占める。

また、本県沖合は親潮と黒潮がぶつかる生産性の高い海域であり、金華山・三陸沖漁場は世界3大漁場としても有名である。

気候は、東北地方としては比較的温暖で降雪が少ない。

県内の産業構造は、平成27年国勢調査就業状態等基本集計結果では、第一次産業が4.5%、第二次産業が23.4%、第三次産業が72.1%となっている。

県内総生産は、令和元年度宮城県民経済計算では、第一次産業が1.7%、第二次産業が24.8%、第三次産業が73.4%となっている。

農業では、全国トップクラスの大区画水田整備率や、園芸栽培に適した気候や立地条件で、「ひとめぼれ」「ササニシキ」「だて正夢」「金のいぶき」などのみやぎ米の生産とともに、いちごやパプリカなどの野菜を中心に園芸の生産と販売拡大に取り組んでいる。

林業では、すぎやひのきなどが大きく育ち、利用の適期を迎えており、住宅や家具などさまざまな場面に利用されている。

漁業では、さんまやまぐろなど、多様な魚種が水揚げされるほか、ぎんざけやかきなどの養殖も盛んな全国屈指の水産県となっている。

宮城県では、県が誇るブランド農産物の「だて正夢（米）」や「にこにこベリー（いちご）」「仙台牛」をはじめとする「食材王国みやぎ」の自慢の品々を全国に向けて発信していくとともに、競争力の高い園芸産地の確立や、先進技術の導入による生産性の高い農業等を推進し、多様な人材が農業現場で活躍する、魅力ある農業の実現を目指している。

林業では、FSC（森林管理協議会）認証やCLT（直交集成板）建築の普及による新たな木材の需用の掘り起こし、県産材の利用拡大と再生林の取組等を推進している。また、県民参加型の森林づくり活動や森林病虫害防除対策を推進し、県民が森や木を身近に感じながら安心して暮らせる宮城の実現を目指している。

漁業では、県産品として初めてGI（地理的表示）に登録された「みやぎサーモン」など魅力ある県産水産物の付加価値向上等に取り組んでいる。また、海洋環境や経営環境の変化に柔軟に対応できる体制の構築を目指し、資源の有効活用など、収益性の高い漁業への転換やICTやAI等の先端技術の導入、次代を担う人材の確保等を推進している。

## 主な農林水産物

### 大豆

県の奨励品種「ミヤギシロメ」をはじめ、様々な品種を栽培。地場の大豆加工品に利用されている。  
(収穫量全国2位)



### 米

ひとめぼれ、ササニシキの主産地。環境保全米等、環境に配慮した生産にも取り組む。  
(収穫量全国5位)



### いちご

「仙台いちご」のブランド名で親しまれ、特に亶理郡は栽培に適しており、東北のいちご王国と呼ばれる。  
(収穫量全国10位)



### パプリカ

栗原市や石巻市を中心に栽培され、国内収穫量の約4分の1を宮城県産が占める。  
(収穫量全国1位)



### せり

根まで食べる「せり鍋」が有名。「河北せり」は令和2年12月にGI登録され、「仙台せり」は登録申請中。  
(収穫量全国1位)



### 肉用牛

A5、B5に格付けされた肉のみ呼称できる「仙台牛」は、品質、風味とも高く評価されている。  
(飼養頭数全国9位)



### まぐろ類

漁獲量が全国トップクラスの県を代表する魚。なかでもめばちまぐろの漁獲量は全国第1位を誇る。  
(漁獲量全国2位)



### さめ類

気仙沼市が産地であり、ヒレを原料とする高級食材「フカヒレ」は海外にも輸出されている。  
(漁獲量全国1位)



### ぎんざけ(養殖)

志津川湾が養殖発祥の地。一部養殖ぎんざけは「みやぎサーモン」としてGI登録されている。  
(収穫量全国1位)



### かき類(養殖)

養殖は約400年前に松島湾で開始。生食用の流通が多く、また、養殖用種がきは全国各地に出荷。  
(収穫量全国2位)



# 宮城県内の各地域における農林水産物

## 栗原（くりはら）地域

【農畜産物】 水稲、きゅうり、トマト、パプリカ、そらまめ、りんご、乳用牛、肉用牛、豚  
 【林産物】 生しいたけ、なめこ

## 大崎（おおさき）地域

【農畜産物】 水稲、大豆、はくさい、ねぎ、つるむらさき、トマト、そらまめ、えだまめ、日本なし、乳用牛、肉用牛、豚、ブロイラー、採卵鶏  
 【林産物】 えのきたけ、ぶなしめじ

## 仙台地域

【農産物】 水稲、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、こまつな、ねぎ、せり、なばな、きゅうり、トマト、パプリカ、えだまめ、いちご、りんご、日本なし  
 【林産物】 きくらげ  
 【水産物】 まぐろ類、さけ類、ひらめ・かれい類、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）

## 気仙沼（けせんぬま） ・本吉（もとよし）地域

【農産物】 水稲、こまつな、ねぎ、なばな、えだまめ  
 【水産物】 まぐろ類、かじき類、かつお類、さめ類、さけ類、さんま、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、ほや類（養殖）、わかめ類（養殖）

## 登米（とめ）地域

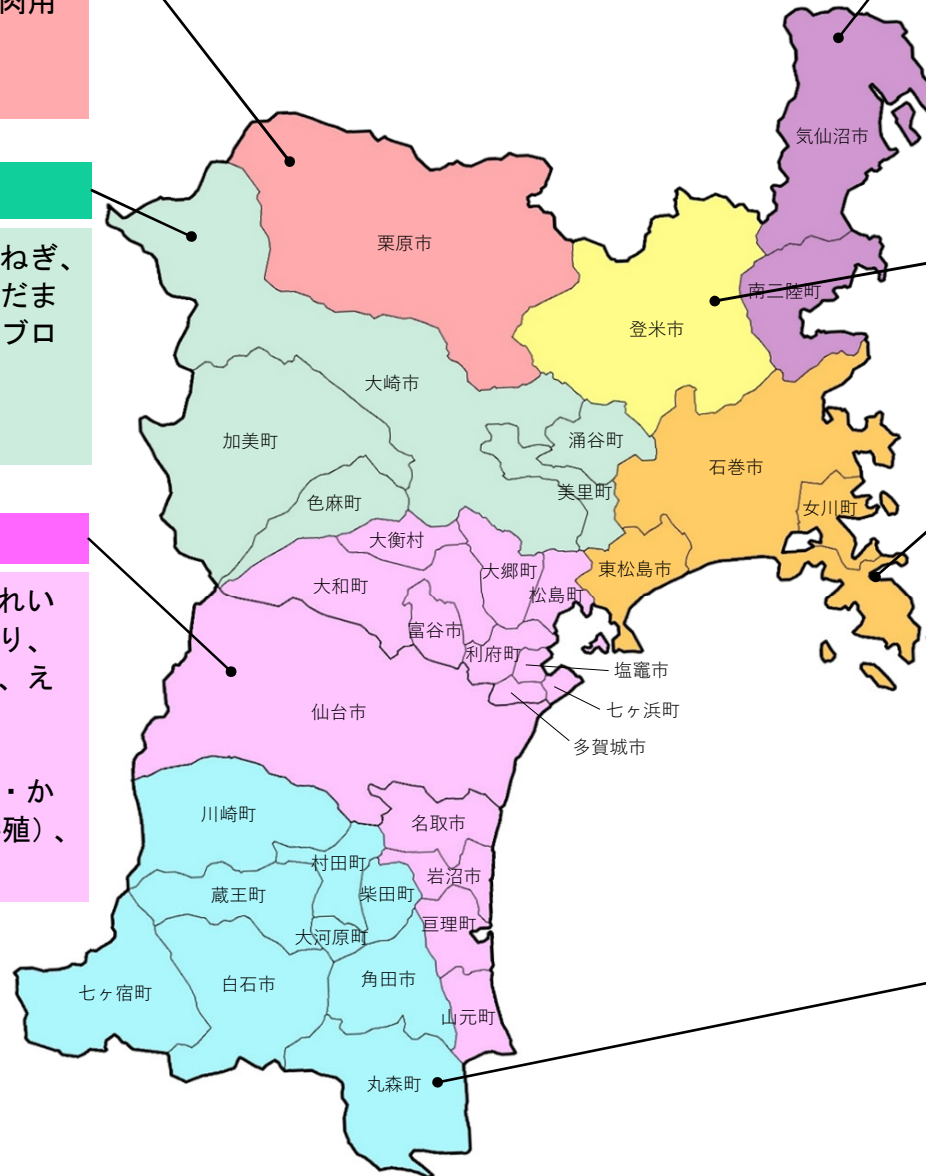
【農畜産物】 水稲、大豆、ばれいしょ、はくさい、きゅうり、えだまめ、りんご、乳用牛、肉用牛、豚  
 【林産物】 木炭

## 石巻（いしのまき）地域

【農畜産物】 水稲、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、こまつな、ねぎ、せり、きゅうり、トマト、パプリカ、いちご、肉用牛、ブロイラー  
 【林産物】 竹材  
 【水産物】 まぐろ類、かつお類、さけ類、さば類、さんま、ひらめ・かれい類、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、ほや類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）

## 仙南（せんなん）地域

【農畜産物】 水稲、六条大麦、つるむらさき、きゅうり、そらまめ、いちご、りんご、日本なし、かき、うめ、乳用牛、ブロイラー、採卵鶏  
 【林産物】 なめこ、えのきたけ、たけのこ



# 宮 城 県 の 農 業 ( 1 )

- ・耕地面積は12万5,500haで全国第8位。内訳は、田が10万3,400ha、普通畑が1万5,200ha、樹園地が1,130ha、牧草地在5,700ha。
- ・農業経営体数は3万5経営体で全国第11位。また、総農家数は4万1,509戸で18位。
- ・認定農業者数は6,279経営体で全国第15位。うち、法人数は707法人で8位。

## 耕地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
耕地面積	125,500 ha	4,349,000 ha	8
田	103,400 ha	2,366,000 ha	4
畑	22,100 ha	1,983,000 ha	21
普通畑	15,200 ha	1,126,000 ha	18
樹園地	1,130 ha	263,200 ha	44
牧草地	5,700 ha	593,400 ha	6
参考) 総土地面積	728,229 ha	37,797,463 ha	16

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
農業経営体数	30,005 経営体	1,075,705 経営体	11
法人経営体	688 経営体	30,707 経営体	17
総農家数	41,509 戸	1,747,079 戸	18
販売農家	28,632 戸	1,027,892 戸	11
参考) 世帯総数	982,523 世帯	55,830,154 世帯	14
集落営農数	830 集落営農	14,490 集落営農	2

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 荒廃農地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	6,137 ha	281,831 ha	20

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	32,818 人	1,363,038 人	19
男	20,675 人	822,144 人	19
女	12,143 人	540,894 人	19
65歳以上	23,679 人	948,621 人	20
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	72.2 %	69.6 %	-
認定農業者数	6,279 経営体	233,806 経営体	15
法人数	707 法人	26,080 法人	8
参考) 総人口数	2,301,996 人	126,146,099 人	14

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 担い手への農地の集積状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	75,645 ha	2,535,115 ha	7
集積率	60.1 %	58.0 %	10

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

# 宮 城 県 の 農 業 ( 2 )

- ・ 農業産出額は1,902億円で全国第17位。内訳は、米が795億円、野菜が275億円、肉用牛が245億円、豚が141億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、せり及びパプリカが全国第1位、大豆が2位、水稲が5位、肉用牛が9位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農家レストランの年間販売金額が10億5,000万円で全国第9位、事業体数が40事業体で6位。

## 農業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
農業産出額	1,902 億円	89,557 億円	17
米	795 億円	16,551 億円	5
麦類	2 億円	521 億円	19 *
雑穀	0 億円	77 億円	21
豆類	33 億円	712 億円	3
いも類	8 億円	2,391 億円	32
野菜	275 億円	22,520 億円	28
果実	30 億円	8,741 億円	43
花き	26 億円	3,080 億円	36
工芸農作物	1 億円	1,553 億円	37
その他作物	5 億円	697 億円	26 *
畜産	724 億円	32,279 億円	12
肉用牛	245 億円	6,863 億円	6
乳用牛	138 億円	9,310 億円	10
生乳	124 億円	7,798 億円	10
豚	141 億円	6,596 億円	13
鶏	199 億円	8,724 億円	14
鶏卵	132 億円	4,577 億円	14
ブロイラー	58 億円	3,621 億円	15 *
その他畜産物	1 億円	787 億円	33
加工農産物	2 億円	436 億円	22

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

注：2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	宮 城 県	全 国	全国順位	
せり	収穫量	H30	443 t	1,088 t	1
パプリカ	収穫量	H30	1,441 t	6,397 t	1 *
大豆	収穫量	R2	18,800 t	218,900 t	2 *
つるむらさき	収穫量	H30	190 t	1,165 t	2 *
水稲	収穫量	R3	353,400 t	7,563,000 t	5
六条大麦	収穫量	R3	4,450 t	55,000 t	6 *
肉用牛	飼養頭数	R3	80,000 頭	2,605,000 頭	9
乳用牛	飼養頭数	R3	18,200 頭	1,356,000 頭	9
りんご	収穫量	R2	2,680 t	763,300 t	9 *
いちご	収穫量	R2	4,640 t	159,200 t	10
えだまめ	収穫量	R2	1,270 t	66,300 t	10
ねぎ	収穫量	R2	9,720 t	441,100 t	13

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「地域特産野菜生産状況調査」、「畜産統計」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	8,643 百万円	946,841 百万円	33
	事業体数	660 事業体	32,400 事業体	20
農産物直売所	総額	15,455 百万円	1,053,366 百万円	33
	事業体数	480 事業体	23,650 事業体	21
農家レストラン	総額	1,050 百万円	35,696 百万円	9 *
	事業体数	40 事業体	1,360 事業体	6 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 宮 城 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は84.9億円で全国第14位。内訳は、木材生産が43.8億円、栽培きのこ類生産が40.6億円。
- ・ 林産物の生産状況は、あかまつ・くろまつ（針葉樹）が全国第5位、すぎ（針葉樹）が8位、ぶなしめじ及びえのきたけが6位。
- ・ 製材工場数は77工場で全国第28位。内訳は、国産材のみが58工場、国産材と輸入材が18工場。

## 林野面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林野面積	407,710 ha	24,770,201 ha	22
国有林	121,700 ha	7,153,338 ha	14
民有林	286,010 ha	17,616,863 ha	26
人工林面積	198,235 ha	10,203,842 ha	21

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業経営体数	489 経営体	34,001 経営体	27
法人経営体	78 経営体	4,093 経営体	19

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業産出額	84.9 億円	4,286.4 億円	14
木材生産	43.8 億円	1,943.7 億円	16
栽培きのこ類生産	40.6 億円	2,259.6 億円	14

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
素材生産量	576 千m <sup>3</sup>	19,882 千m <sup>3</sup>	9
針葉樹	530 千m <sup>3</sup>	18,037 千m <sup>3</sup>	9
あかまつ・くろまつ	40 千m <sup>3</sup>	570 千m <sup>3</sup>	5
すぎ	478 千m <sup>3</sup>	11,663 千m <sup>3</sup>	8
広葉樹	46 千m <sup>3</sup>	1,845 千m <sup>3</sup>	9
生きくらげ類	生産量 169.5 t	1,708.9 t	2 *
ぶなしめじ	生産量 3,214.7 t	122,802.2 t	6 *
えのきたけ	生産量 1,682.7 t	127,914.2 t	6 *
たけのこ	生産量 152.6 t	26,448.5 t	19
生しいたけ	生産量 929.5 t	70,279.6 t	21

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
工場数	77 工場	4,115 工場	28
製材用素材の入荷があった工場数	77 工場	4,067 工場	28
国産材のみ	58 工場	3,237 工場	29
国産材と輸入材	18 工場	653 工場	15

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 宮 城 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は834億円で全国第4位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業では、さめ類が全国第1位、まぐろ類が2位。また、海面養殖業では、ぎんざけが1位、かき類が2位。内水面漁業では、さけ類が6位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の事業体数が40事業体で全国第3位、年間販売金額が3億9,800万円で22位。

## 漁船隻数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,318 隻	132,201 隻	6
動力漁船	1,498 隻	69,920 隻	19

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

## 漁業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,326 経営体	79,067 経営体	13
内水面漁業経営体数	29 経営体	4,772 経営体	34

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	6,224 人	151,701 人	5
男	5,530 人	134,186 人	4
女	694 人	17,515 人	11

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	834 億円	13,484 億円	4

出典：「令和元年漁業産出額」

## 水産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	248,959 t	4,182,983 t	3 *
海面漁業漁獲量	165,161 t	3,213,334 t	5
さめ類	10,241 t	21,714 t	1
まぐろ類	22,380 t	177,029 t	2 *
海面養殖業収穫量	83,798 t	969,649 t	3 *
ぎんざけ	14,908 t	17,333 t	1 *
かき類	18,432 t	159,019 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	292 t	50,832 t	26 *
内水面漁業漁獲量	105 t	21,745 t	18 *
さけ類	61 t	6,609 t	6 *
内水面養殖業収穫量	187 t	29,087 t	20 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

注：2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

注：3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	3,879 百万円	175,132 百万円	13
	事業体数	30 事業体	1,500 事業体	16
水産物直売所	総額	398 百万円	36,489 百万円	22 *
	事業体数	40 事業体	800 事業体	3 *
漁家民宿	総額	298 百万円	6,659 百万円	7 *
	漁業経営体数	30 経営体	900 経営体	8 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 宮城県の農林水産業の話題等

## 第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画（令和3～12年度）を策定

宮城県では、農業・農村の振興に関する基本的な計画である「みやぎ食と農の県民条例基本計画」を定めており、令和3年度から令和12年度までの10か年を計画期間とする第3期基本計画を令和3年3月に策定した。

この第3期基本計画では、豊かな食、儲ける農業、活力ある農村を次の世代につなげるためには、農業者のみならず食に関係する全ての事業者や消費者が共に連携・共働することが重要であるとの考えの下、「共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～」をキャッチフレーズに掲げ、各種施策を総合的に展開している。

なお、第3期計画では、園芸産出額の倍増を目指しており、平成30年には333億円だった園芸産出額を令和12年には670億円（園芸産出額620億円＋1次加工による付加価値50億円）とする目標を掲げ、水稻から加工・業務用ばれいしょやたまねぎなどへの転換や、いちごやトマト、きゅうりなどの施設園芸における高度な環境制御技術の取組拡大による反収増加を推進している。



## 体験型観光農園「JRフルーツパーク仙台あらはま」を開園

東日本大震災で甚大な津波被害を受けた仙台市東部沿岸部の集団移転跡地に、JR東日本グループの仙台ターミナルビル株式会社が令和3年3月に体験型観光農園「JRフルーツパーク仙台あらはま」をオープンした。

農園ではりんご、なし、ぶどう、いちじく、ブルーベリー、いちごなど8品目156品種の果樹を栽培し、年間を通して摘み取り体験が楽しめる。園内には直売所やカフェ・レストランが併設されており、農園で収穫した果物や地元農家が生産した野菜を購入できるほか、旬の食材を使用したスイーツや料理を味わうこともできる。

「もう一度、人々の笑顔が集う場所にしたい」との想いで開園したフルーツパークが、この地に新たな賑わいを創出するとともに、地域の農業振興にも寄与することが期待される。

園内に設置されている大きなゲートが来場者を迎えてくれる



直売所やカフェ・レストランが入る総合施設棟